

○●屋根から落ちる雪や氷による危険防止等のお願い●○



毎年、冬になると屋根に積もった雪・氷・つららが落ちて歩行者がケガをしたり、死亡する事故が起っています。

皆さんも、冬期間の生活には苦勞されていると思いますが、冬期間の通行を円滑にし、事故を無くすため、次のことに特に注意するようお願いします。

- ◇屋根の雪・氷・つららが道路に落ちる建物には、これによる事故を避けるため、雪止めをつけるようにしてください。
- ◇雪止めがつけてあっても強さが足りなかったり、針金等がさびついて古くなり、切れて落ちることもあるので、必ず点検して悪いところがあれば早めに修繕するようにしてください。
- ◇屋根の雪・氷・つらは、気温が上昇したとき（特にマイナス3度からプラス3度くらい）に落ちやすい状態となります。そのようなときは早めに落とすようにし、落とすときは歩行者や遊んでいる子ども等に充分注意するようにしてください。
- ◇屋根から大量の雪が落ちたときは、すぐに事故がないかどうか確かめるとともに、歩行者の通行への影響を避けるため、速やかに処理してください。
- ◇交通事故や交通障害防止のため、屋根からの落氷雪や敷地内の積雪を道路に出さないようにしてください。
- ◇軒下を通行するときは、屋根からの落氷雪に充分注意するようにしてください。
- ◇軒下や道路では、子どもを絶対に遊ばせないようにしてください。



留萌開発建設部・留萌振興局・留萌警察署・小平町

▶ 暴風雪等による被害防止について

- 気象情報に注意して、暴風雪が予想されるときは外出を避けましょう。
- やむを得ず車で外出するときは…
 - ・車が立ち往生する可能性もあるので、防寒着・長靴・手袋・スコップ・けん引ロープ等を車に用意し、十分に燃料があることを確認して出かけましょう。万が一に備えて、飲料水や非常食も用意しておくとう安心です。
 - ・大雪や吹きだまり等で車が立ち往生したときは、ロードサービスや近くの人家等に必ず救助を依頼してください。また、ハザードランプの点灯や停止表示板を置く等、車が目立つようにしてください。
 - ・近くに避難できる場所や人家がない場合は、消防（119番）や警察（110番）に連絡して、車内で救助に備えてください。
 - ・車が雪に埋まったときは、エンジンを切りましょう。マフラーが雪に埋まると排気ガスが車内に逆流し、一酸化炭素中毒を起こすおそれがあります。防寒等でやむを得ずエンジンをかけるときは、窓を開けて換気し、こまめにマフラーの周りを除雪してください。



▶ 除雪等による被害防止について

- 屋根の雪下ろしをするときは…
 - ・ハシゴを支えたり、安全を確認したり、万が一のときは救助のためにも、複数で行いましょう。やむを得ず1人で行う場合は、家族や近所の人に声をかけましょう。
 - ・靴やハシゴに滑り止めをつける等の工夫をしましょう。
 - ・万が一、滑ったときや雪の急落に備えて、命綱をつけましょう。
 - ・下の通行人や子ども等に充分注意しましょう。
- 除雪機を使用するときは…
 - ・機械に巻き込まれないように、服装に注意しましょう。
 - ・雪が詰まった等のトラブル時は、必ずエンジンを停止させましょう。
 - ・通行人や子ども等に気を付けて、周囲を確認しましょう。

